

フロン類回収業者の皆さまへ

ボンベの『かようせん可溶栓』を再確認ください!!

平素は、フロン類の適正処理にご尽力いただきまして、ありがとうございます。

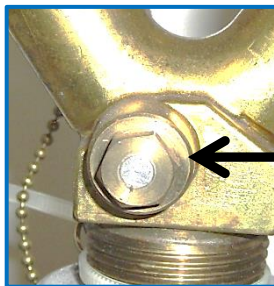
フロンボンベは、40℃以下に保つことが法律上規定されています。『可溶栓』にふくらみが見られる場合には内部圧力が上昇し、フロン類の漏れや可溶栓飛び出しによる事故の原因となるため注意が必要です。

特に6月から9月の夏季はボンベの使用・保管環境も高温となり、可溶栓が溶けることによるフロン漏れが増える時期のため、改めて以下をご確認頂き適正なボンベ管理をお願いいたします。

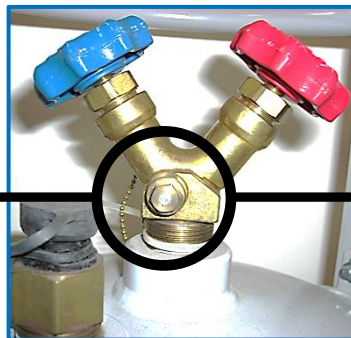
「可溶栓」に異常がないかをチェックしてください

可溶栓に異常（膨らみや溶け）はありませんか？

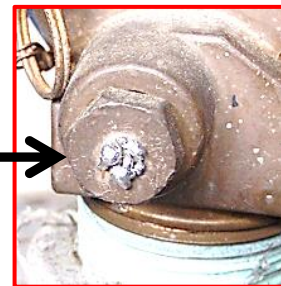
〔適正な状態〕



異常なし



〔可溶栓が膨らんでいる状態〕



可溶栓に膨らみや溶けがある

引き続き適正な保管をお願いします

- 直射日光の当たらない涼しい場所で作業/保管してください
- ボンベを40度以下に保ってください
- 水を含ませたタオルをフロンボンベにかける等の対策を実施してください

ボンベの使用を中止し、指定引取場所に引渡した後に、修理に出してください

- 早急にボンベを指定引取場所に引き渡してください（満タンでなくても構いません）
- 空ボンベを受け取った後、速やかに修理に出してください（ボンベ購入店、検査場など）
- 再発しないよう、適正な保管をお願いします

※何台も連続して回収するとボンベが高温になることがあります。温度管理にご注意の上、回収作業を行ってください。

※上記画像が見えにくい場合は、検索サイトで『しさいきょう自再協 かようせん可溶栓』と入力して確認してください。

自再協 可溶栓

×

検索

クリック

ご不明な点は、自再協までお問い合わせください。

自動車再資源化協力機構（自再協）

TEL: 03-5405-6155/E-mail: info@jarp.org